

所ハ別ニ之ヲ告示ス(明治三十三年十二月廳令第九號ヲ以テ改正)

第二章 街路ノ安寧及保存

第三條 (二十八年九月廳令第七十九號ヲ以テ削除)

第四條 左ノ制限ニ從フモノ、外街路ニ建物軒擔招牌物干等ヲ設ケ又ハ出スヘカラス

一 釣看板標旗ハ地盤ヲ拒ル高サ一丈以上ニ限リ二尺以内

二 軒擔ハ地盤ヲ距ル高サ九尺以上ハ二尺以内六尺以上ハ一尺五寸以内

三 日除(布類ヲ用フルモノ)ハ支柱ヲ用ヒス地盤ヲ距ル高サ七尺以上ニ限リ四尺五寸以内

四 掲燈ハ地盤ヲ距ル高サ六尺以上ニ限リ一尺以内

五 煙筒ハ地盤ヲ距ル高サ六尺以上ニ限リ二尺五寸以内

六 雪圍ハ道幅五間以上ハ六尺以内五間以下ハ三尺以内

地盤ノ私有ニ屬スル街路ニアリテハ所轄警察官署ノ許可ヲ受ケ前項ノ制限ニ依ラサルコトヲ得(三十八年九月廳令第七十九號ヲ以テ本條改正)

第五條 左ノ事項ハ場所及使用期限ヲ記シ所轄警察署ニ願出許可ヲ受クヘシ

一 街路ニ床店又ハ葭簀張ヲ設クルコト

二 街路ニ樹木ヲ植ヘ又ハ旗柱街燈ヲ建ツルコト

三 街路ニ柵欄支柱ヲ設ケ又ハ齒止石ヲ置クコト

四 街路ニ華表牌表指道標其他公處ノ用ニ供スル標識ヲ建設スルコト

五 街路ニ目塗土置場ヲ設クルコト

六 工事又ハ商業ノ爲メ一時竹木土石類ヲ置キ若ハ板圍繩張足代ヲ設クル等街路ヲ使用スルコト

七 街路ヲ經テ建物ヲ移シ又ハ街路ヲ壅塞スヘキ長大ノ物品ヲ運搬スルコト

八 神佛祭典興行又ハ年市等ノ節街路ニ一時舞臺小屋掛ヲ設クルコト

第六條 祝日祭典開扉年市等ニ際シ左ノ各項ニ係ル一時ノモノハ警察官署ノ許可ヲ受ケス街路ニ出スコトヲ得但シ警察官吏ニ於テ交通其他妨害アルモノト認メタルトキハ之ヲ撤去セシムルコトアルヘシ

一 旗幟ヲ建ツルコト

二 門松綠門等橋梁ニ設ケルモノヲ除クヲ設クルコト

三 提灯又ハ燈籠ヲ出スコト

四 屋臺店又ハ露店ヲ出スコト

第七條 通行禁止ノ禁止アル場所ニ出入セムトスル者ハ警察官吏又ハ掛官吏ノ許可ヲ受クヘシ但シ其區域線内ニ居住スル者ハ此限リニ在ラス

第八條 街路ヲ使用シテ之ヲ毀損シタルトキハ直ニ原形ニ復スヘシ

第九條 街路ニ於テ使用スル屋臺店ハ長サ六尺幅四尺ヲ超過スヘカラス

第十條 街路ニ沿フタル宅地ニシテ奥行九尺以上ノ空地アル場所ハ道敷ノ境界ニ墻塀ヲ設クヘシ但シ警察官署ノ許可ヲ得タル者ハ此限リニ在ラス

第十一條 街路ニ出テタル軒擔ニハ軒樋及堅樋ヲ設クヘシ其堅樋ハ街路ノ地盤ニ設クルコトヲ得ス但シ檐溜ノ下水ニ落ツルモノハ此限ニ在ラス

第十二條 街路ニ沿フタル高處ニ墮落ノ虞アル物品ヲ置クヘカラス

第十三條 街路ニ沿フタル建設物樹木等崩壞顛倒ノ虞アルトキハ速ニ修理撤去又ハ扶植伐採スヘシ

第十四條 街路ニ沿フタル場所ニ竹木ヲ立置クトキハ鐵鎖又ハ強靱ナル繩索ヲ以テ之ヲ纏束シ薪炭

其他ノ物件ヲ堆積スルトキハ顛倒セサル様堅牢ノ裝置ヲ爲スヘシ



第十五條 街路ニ竹木土石類其他運搬中ノ物件ヲ置クトキハ路傍ニ片寄セ標識ヲ設クヘシ

第十六條 道敷及溝渠下水橋梁ヲ毀損壅塞シ街路ノ樹木ヲ伐採シ又ハ街燈ヲ破毀消滅スヘカラス

第十七條 制札、指道標、塙塙、電燈柱ヲ毀棄汚損シ又ハ落書貼紙ヲ爲スヘカラス

第十八條 街路ニ於テ警察官署ノ指定シタル場所外ニ露店屋臺店ヲ出スヘカラス

第十九條 街路ニ商品薪炭其ノ他ノ物件ヲ排列シ又ハ置クヘカラス (明治三十一年七月廳令第五十七號ヲ以テ追加)

第二十條 街路ニ於テ火氣ヲ弄シ又ハ焚火ヲ爲スヘカラス

第二十一條 街路ニ牛馬羊豚等ヲ放置シ又ハ街路ニ於テ之ヲ養飼スヘカラス

第二十二條 狂犬猛獸等ノ繫鎖ヲ怠リ路上ニ放チ又ハ他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放スヘカラス

第二十三條 街路ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ嘍シ又ハ驚逸セシメ若クハ殘虐ニ取扱フヘカラス

第二十四條 牛馬ヲ索キ又ハ繫クコトヲ忽セニシテ行人ノ妨害ヲ爲スヘカラス

第二十五條 街路ニ於テ制止ヲ肯セス放歌喧噪又ハ高聲ヲ發シ若ハ偃臥スヘカラス (明治三十四年三月廳令第三十三號ヲ以テ改正)

第三章 街路ノ清潔

第二十六條 街路ハ常ニ清潔ニ掃除シ塵芥ヲ存スヘカラス

第二十七條 街路ノ積雪ハ踏ミ固メ又ハ取片付ヲ爲シ通行ヲ便ニスヘシ

第二十八條 炎天及風日ニシテ地盤乾燥セル日ニハ時々街路ニ淨水ヲ洒クヘシ

第二十九條 前三條ハ兩側ニ居住人アルモノハ其居住人ニ於テ街路ノ中央ヨリ各一半ヲ負擔シ片側居住人ナキトキハ其全部ヲ負擔スヘシ若シ兩側共ニ居住人ナキトキハ地主又ハ借地人若クハ管理

者ニ於テ負擔スヘシ

第三十條 街路ニ汚水ヲ注クヘカラス

第三十一條 街路ニハ竹木瓦礫又ハ塵芥禽獸ノ死屍其他汚穢物ヲ投棄スヘカラス

第三十二條 下水ハ毎年二回以上浚渫スヘシ

其渫ヒ揚タル游泥塵芥等ヲ街路ニ置クヘカラス

第三十三條 街路ニ於テ便所ニアラサル場所ニ大小便ヲ爲シ又ハ爲サシムヘカラス

第三十四條 街路ニ於テ蓋ナキ器具ヲ以テ汚穢物ヲ運搬シ又ハ街路ニ汚穢物ヲ堆積シ若クハ乾曝スヘカラス

第三十五條 街路ヲ運搬スル物品ハ墜落漏出又ハ飛散セシムヘカラス

第三十六條 街路ニ臨ミタル屋根物干又ハ窓手摺等ニ見苦シキ物品ヲ懸ケ置クヘカラス

第四章 街路ノ通行

第三十七條 通行及避讓法ハ左ノ各項ニ從フヘシ

一 人道車馬道ノ設ケアル場所ニ在リテハ牛馬ヲ人道ニ牽入ルヘカラス但シ人道ニ沿フタル家屋

ニ出入スルカ爲メ一時牽入ル、ハ此ノ限リニ在ラス

二 牛馬ハ車馬道ノ設ケアル地ハ左側其他ハ街路ノ中央ヲ通行スヘシ但シ積雪中ハ行人ノ妨害トナラサル様避讓スヘシ

三 車馬及歩行者行逢フトキハ互ニ左ニ避ケ軍隊並砲車輜重車ニ對シテハ右ニ避クヘシ

四 郵便用消防用ニ供スル車馬又ハ灌水車若クハ葬送等ニ行逢フトキハ避讓スヘシ

五 牛馬ヲシテ街角ヲ通行セシムルトキハ右ハ大廻ヲ爲シ左ハ小廻ヲ爲スヘシ

第三十八條 夜中燈火ナクシテ牛馬ヲ疾驅スヘカラス



第三十九條 牛馬ヲ竝ヘ牽キ又ハ濫リニ疾驅シテ通行ノ妨害ヲ爲スヘカラス  
第四十條 牛馬ハ口取ナクシテ追立又ハ二頭以上ヲ連繫シテ索クヘカラス但シ警察署ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限リニ在ラス(明治二十七年七月廳令第四十二號ヲ以テ改正)

第四十一條 制止ヲ肯セスシテ出火場其他雜沓ノ場所ニ入り又ハ牛馬ヲ牽入ルヘカラス  
第四十二條 末口ノ尖リタル竹木等ヲ運搬スルトキハ其末口ヲ纏束スヘシ  
第四十三條 街路ニ於テ客引ヲ爲シ又ハ濫リニ通行人ヲ取止メ若ハ風俗ヲ亂スヘキ所行ヲ爲スカラス

第四十四條 街路ニ於テ手毬ヲ投ケ獨樂ヲ弄ヒ又ハ其他ノ遊戲ヲ爲シ通行ノ妨害ヲ爲スヘカラス  
第四十五條 街路ニ於テ軍談輕業其他人寄ヲ爲スヘカラス  
第四十六條 看護人ナクシテ三年未滿ノ小兒ヲ放遊セシムヘカラス

第五章 罰 則

第四十七條 本則第五條第七項、第九項、第十一項、第十五項、第十六項ニ違犯シタル者ハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

本則第四條第五條(第七項第九項第十一項第十五項第十六項ヲ除ク)第九條、第十二條、第十六條、第二十條、第三十一條、第三十七條第一項、第四十一條、第四十三條ニ違犯シタル者ハ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ二十錢以上一圓二十五錢以下ノ科料ニ處ス

本則第十五條、第十八條、第二十一條、第三十四條、第四十五條ニ違犯シタル者ハ一日ノ拘留ニ處シ又ハ十錢以上一圓以下ノ科料ニ處ス

本則第八條、第十二條、第十四條、第十七條、第十九條、第二十三條、第二十五條、第三十條、第三十三條、第三十五條、第四十條、第四十二條、第四十四條ニ違犯シ又ハ第十條、第十一條、第二十七條、第

二十八條、第三十六條ニ背キ警察官吏ノ督促ヲ受ケ尙ホ爲サレル者若クハ第三十七條第一項第四十六條ニ背キ通行ノ妨害ヲ爲シタル者ハ五錢以上五十錢以下ノ科料ニ處ス  
但シ刑法ヲ以テ處分セラレヘキモノニハ本條ヲ適用セス

○同上施行ノ箇所ノ件(明治四十一年八月告示第四九六號ヲ以テ改正)

○北海道廳告示第五〇〇號明治三十三年十月二日  
明治三十三年<sup>正三</sup>北海道廳令第九號ヲ以テ<sup>正五</sup>明治二十七年<sup>正五</sup>北海道廳令第二十三號街路取締規則第二條改正ノ結果同則施行ノ箇所左ノ通

- 石狩國札幌區
- 同 上川郡旭川町
- 同 空知郡岩見澤町
- 同 札幌郡江別村
- 同 石狩郡石狩町
- 同 空知郡瀧川村
- 同 同 郡砂川村
- 同 夕張郡登川村
- 渡島國函館區
- 同 松前郡福山町
- 同 檜山郡江差町
- 同 爾志郡熊石村



同 茅部郡森 村  
 後志國小樽區  
 同 余市郡余市町  
 同 古平郡古平町  
 同 岩内郡岩内町  
 膽振國有珠郡伊達村  
 釧路國釧路郡釧路町  
 同 厚岸郡厚岸町  
 根室國根室郡根室町  
 十勝郡河西郡下帶廣村  
 北見國網走郡北見町  
 同 宗谷郡稚内村  
 日高國浦河郡浦河町

○違警罪告發ニ關スル件

○殖民部長ヨリ各支廳長へ通牒 明治三十二年七月十日 殖拓 第二九二〇號  
 官吏公吏其職務ヲ行フニ因リ犯罪アルコトヲ認知シ又ハ犯罪アリト思料シタル場合ハ刑事訴訟法第五十二條ニ依リ其職務ヲ行フ地ノ檢事ニ告發スヘキハ當然ニ候得共這般其向ト交渉ノ上違警罪ニ就テノ告發狀ハ檢事宛ニシテ之ヲ所轄警察署又ハ分署へ送付候ハハ同署ニ於テ判決スルコトニ協定相成候間右ニ御承知有之度依命此段及通知候也

○贓品處分方ノ件

○札幌地方裁判所檢事正ヨリ第五部長へ通牒 明治四十年十一月二十七日 日記 第五八六號  
 贓品處分方ノ件ニ關シ別紙ノ通司法警察官へ訓令候條此段及通牒候也  
 (別紙)

○札幌地方 明治 日記五八五號  
 檢事局 四十年  
 贓品ハ特ニ必要ナキ限リハ假下若クハ保管下ヲ爲サス差出人ト被害者トヲシテ承諾授受ノ手續ヲ爲サシムヘシトハ當職ヨリ本年六月一日管内司法警察官會同ノ際演達セシ所ナルニ住々ニシテ特別ノ必要ナキニ拘ラス假下若クハ保管下ノ處分ニ出テラルハ向モ有之爲メ一旦加害者ヨリ引上ケ被害者ニ假下若クハ保管下ヲ爲シタル物件ヲ更ニ加害者ニ還付スル判決ヲ受クルノ己ムヲ得サルニ至ル奇觀ヲ呈スルコト少ナカラス候條自今特段ノ注意ヲ加ヘラルヘシ  
 右訓令ス

明治四十年十一月二十七日

札幌地方裁判所檢事正

管内司法警察官御中

○委任狀ニ關スル件

○内務部長ヨリ各郡區長へ通牒 明治二十六年十月二十四日 内務部 第一〇一六五號  
 土地ニ關スル願届書ニシテ代理人名義ノモノ委任狀ノ件ニ關シテハ明治二十二年二月二十六日付ヲ以テ及御通知置候次第モ有之候處自今ハ左ノ通御取扱相成度  
 一 土地並ニ水面埋立使用等ニ關スル願届書ニシテ代理人名義ヲ以テスルモノハ各事件毎ニ必ス

14  
15



代理委任狀謄本ヲ添附セシムル事

一 委任狀ニハ委任ノ事項ヲ明確ニ記載セシムル事  
 一 委任狀ノ謄本ニハ受任者ヲシテ原書ニ相違ナキ旨ヲ記入セシメ原書ト契印ノ上署名捺印セシムル事  
 一 委任狀ノ謄本ヲ接受シタルトキハ一應原書ヲ差出サシメ相違ナキヤ否ヤヲ照合シテ相違ナシト認メタルトキハ之ニ照合濟ノ捺印ヲ爲シタル上進達セララルル事  
 但本項ノ手續ハ戸長役場ヲシテ取扱ハシメラル、モ妨ナシ  
 右命ニ依リ及通牒候也

○告示不通牒ノ件

○長官ヨリ府縣知事ヘ周知方依願 明治四十一年七月七日 五拓 第四七三四號  
 明治四十一年法律第五十七條北海道國有未開地處分法實施ニ付別紙告示ヲ發シ候處本件ハ貴管内居住者ニ關係有之哉モ難計候條便宜周知方御取計相成度此段及御依願候也

○郡區長與書加印スヘキ願届ノ件

○札幌本廳開拓使達丁第十六號 明治十三年 二月九日  
 人民ヨリ當廳ヘ差出ス願届書ノ内郡區長戸長ノ與書加印ヲ要スルモノ別紙ノ通相定候條自今右ニ照準可致尤モ特ニ書式アルモノハ新式ニ準據候儀ト心得ヘシ  
 (別紙ノ分)  
 一 官有地拂下ケ及拜借地等ニ關スル事  
 一 牧場及漁場新開ノ事

土地ニ關スル事  
 荒地潰地開墾等ニ關スル事  
 地租ノ増減ニ關スル事  
 移住民諸給與願ノ事  
 凶歲租稅延期等ニ關スル事  
 公立小學校及夜學校設立並ニ新築轉校改稱ニ關スル事  
 不良ノ子弟懲治檻入ノ事  
 道路堤防橋梁樋堰ニ關スル普請ノ事  
 私立病院開廢ノ事  
 貧困難澁ノ患者無代價病院入ノ事  
 社寺所有地什器賣却等ノ事  
 民有地内社堂衆庶參詣ノ事  
 舩燈製造及販賣ノ事  
 諸拜借金並ニ拜借建物ニ關スル事  
 外國人ニ關スル處分ノ事  
 水火災等ノ難ニ罹リ小屋掛農具代拜借ノ事  
 耕宅變換ノ事  
 工事ヲ興シ製作場ヲ設クル事  
 但瑣末ノ分ハ此限ニアラス  
 河海岸地拜借地及返地或ハ所用變換ノ事

14  
13



- 一 度量衡製造發賣ノ事
  - 一 水車設立ノ事
  - 一 諸會社及諸營業組合設立ノ事
  - 一 市場開設ノ事
  - 一 舟車運送乗合馬車營業ノ事
  - 一 牧畜ノ事
  - 一 公立學校諸表編製ノ事
- 右ノ外成規慣例ニヨリ戸長ノ與印ヲ要スルモノハ從前ノ通タルヘシ

○往復公文書ニ記載事項ニ付注意方ノ件

○土地ニ關スル公文書ノ件内務部長ヨリ各郡區長ヘ通牒 明治二十六年十一月二日

土地ニ關スル事件ニ付キ照會ニ及置候事件ニ對シ何等ノ回答ヲモ付セスシテ願屆書若クハ關係書類等ヲ進達セラレ或ハ照會文ニ對スル回答ニシテ照會書ノ年月日番號又ハ件名等記載ナク又ハ閣令第十六號ニ依ル貸下拂下ニ關スル事件ト特別貸下拂下若クハ水面ノ埋立使用等ニ關スル事件トヲ混同シテ願屆書及關係書類等進達ノ向有之候爲メ處務上敏活ヲ缺キ手數ヲ要シ支障不尠候條自今右等之儀無之様特ニ御注意相成度此段及照會候也

○人夫傭入ニ關スル件

○拓殖部長ヨリ出張員ニ通牒 大正三年九月七日 殖親一四七號

出張中作業ニ要スル人夫ハ該出張員ニ於テ傭入レ來リ候處中ニハ親子兄弟緣故者ヲ人夫ニ傭入候向往々有不裁ニ聞及候處右ハ穩當ヲ缺クノ嫌有之候ニ付爾今右等ノ關係アル者ハ一切傭入レサル様注

意可有之此段及通牒候也

追而本件ハ貴官同行出張員ヘ夫々傳達相成度申添候

○土地寄附費用ニ關スル件

○拓殖部長ヨリ各支廳長ヘ通牒 明治四十三年十一月四日 拓殖第七二四〇號

土地整理ノ結果道路敷地、河川敷地、堤塘敷地、溝渠敷地、官林地其他土地處分上ノ必要ニ依リ民有地寄附ノ場合分裂登記ニ要スル收入印紙料等ハ止ムヲ得サルモノニ限リ道廳負擔ノコトニ御決裁相成候ニ付右費用ハ貴廳配付豫算拓殖費ノ款殖民費ノ項事務費ノ目雜給及雜費ノ節ヨリ處辨相成差支無之候條此段及通牒候也

○地方費法 (抄 錄)

○北海道地方費法 明治三十四年三月 法律第三號

第三條 反別割ハ地租附加稅ヲ賦課セサル土地ノ所有者ニ之ヲ賦課ス但シ其ノ土地ノ民有ニ歸シタル年ノ翌年ヨリ二年間及屯田兵土地給與規則ニ依リ給與シタル土地ニ對シテハ現役中ノ賦課セ

ス 第六條 戸數割ハ北海道移住民ニシテ主トシテ耕作又ハ牧畜ノ事業ニ引續キ從事シ移住ノ日ヨリ三

年ヲ經過セサル者ニハ之ヲ賦課セス

○區 制 (抄 錄)

○北海道區制 明治三十年五月 勅令第五百五十八號

第三章 區 會



第二款 職務權限及處務規程

第五十九條 區會ノ議決ヲ經ヘキ事件左ノ如シ

一 區條例及區規則ヲ設定スル事

三 歳入出豫算ヲ定ムル事

五 區有不動産ニ關スル權利ノ得喪ヲ目的トスル行爲ヲ爲ス事

第六章 區行政ノ監督

第一百八條 左ニ掲クル事件ハ北海道廳長官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 區規則ヲ設定スル事

二 使用料手數料ヲ新設シ若クハ變更スル事

五 區有不動産ニ關スル權利ノ得喪ヲ目的トスル行爲ヲ爲ス事

八 繼續費ヲ定メ若クハ變更スル事

〇一級町村制 (抄 錄)

○北海道一級町村制 明治三十年五月 勅令第五百五十九號

第二章 町村行政

第二款 町村吏員ノ職務權限

第二十條 町村長ハ町村ヲ統轄シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

二 町村有財産及町村ノ營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事

七 外部ニ對シテ町村ヲ代表シ及町村ノ名義ヲ以テ他應若クハ一個人ト交渉スル事

八 法律命令若クハ町村會ノ議決ニ依リ使用料加入金手數料町村税及夫役現品ヲ賦課徵收スル事  
九 其他法律命令若クハ上司ノ指令ニ依テ町村長ニ委任シタル事務ヲ處理スル事  
第二十六條 町村長ハ町村吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得  
第二十七條 助役ハ町村長ノ事務ヲ補助ス  
町村長ハ町村會ノ同意ヲ得北海道廳支廳長ノ許可ヲ經テ助役ヲシテ町村行政事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第三章 町村會

第二款 職務權限及處務規程

第五十九條 町村會ノ議決ヲ經ヘキ事件左ノ如シ

一 町村條例及町村規則ヲ設定スル事

二 町村費ヲ以テ支辨スヘキ事業但シ國及北海道地方費ノ行政事務ニ屬スルモノハ此ノ限ニアラス

三 歳入出豫算ヲ定ムル事

四 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料加入金手數料町村税及夫役現品ノ賦課徵收ノ法ヲ定ムル事

五 町村有不動産ニ關スル權利ノ得喪ヲ目的トスル行爲ヲ爲ス事

八 町村有財産及町村ノ營造物ノ管理方法ヲ定ムル事

第四章 町村ノ財務

第一款 町村有財産及町村税

第七十八條 町村ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ國區町村其他公共團體若クハ一個人ノ事業ニ對シ寄



附若クハ補加ヲ爲スコトヲ得

第八十二條 此ノ勅令中別ニ規程アルモノヲ除ク外特別税ニ關スル細則ハ町村條例又使用料手数料ニ關スル細則ハ町村規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第七章 町村行政ノ監督

第一百五條 町村行政ハ第一次ニ於テ北海道廳支廳長之ヲ監督シ第二次ニ於テ北海道廳長官之ヲ監督シ第三次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第一百十條 町村條例ノ設定ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第一百十一條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

二 特別税ヲ新設シ若クハ變更スル事

第一百十二條 左ニ掲クル事件ハ北海道廳長官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 町村規則ヲ設定スル事

二 使用料手数料ヲ新設シ若クハ變更スル事

六 繼續費ヲ定メ若クハ變更スル事

第一百十三條 左ニ掲クル事件ハ北海道廳支廳長ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 町村有不動産ニ關スル權利ノ得喪ヲ目的トスル行爲ヲ爲ス事

〇二級町村制 (抄 錄)

〇北海道二級町村制 明治三十五年二月 勅令 第三十七號

第二章 町村吏員

第二款 職務權限

第七條 町村長ハ町村ヲ統轄シ町村ヲ代表シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

町村長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

二 町村有財産及町村ノ營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其事務ヲ監督スル事

五 法律命令又ハ町村會ノ議決ニ依リ使用料加入手数料町村税及夫役現品賦課徴收スル事

六 町村營造物ノ管理方法ヲ定ムル事

第十二條 書記及附屬員ハ町村長ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス

町村長事故アルトキハ上席ノ書記之ヲ代理ス

町村長ハ書記ヲシテ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第三章 町村會

第二款 職務權限及處務規程

第三十條 町村會ノ議決ヲ經ヘキ事件左ノ如シ

一 町村規則ヲ設定スル事

三 法律命令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料加入金手数料町村税又ハ夫役現品ノ賦課徴收ノ法ヲ定ムル事

四 町村有不動産ニ關シ權利ノ得喪ヲ目的トスル行爲ヲ爲ス事

七 町村有財産ノ管理方法ヲ定ムル事

第七章 町村行政ノ監督

第五十八條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ

二 特別税ヲ新設シ又ハ變更スル事

第五十九條 左ニ掲クル事件ハ北海道廳長官ノ許可ヲ受クヘシ



- 一 町村規則ヲ設定スル事
  - 二 使用料加入金手數料ヲ新設シ又ハ變更スル事
  - 三 繼續費ヲ定メ又ハ變更スル事
- 第六十條 左ニ掲クル事件ハ北海道廳支廳長ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス
- 一 町村有不動産ニ關シ權利ノ得喪ヲ目的トスル行爲ヲ爲スル事
  - 二 基本財産ノ處分ヲ爲ス事

○附 錄

○北海道治政沿革

- 明治元年四月 箱館裁判所ヲ置キ樺太事務ヲ兼掌セシム
- 同 年閏四月 箱館裁判所ヲ箱館府ト改ム
- 明治二年七月 開拓使ヲ置キ局ヲ民政部中ニ設ケ箱館府ヲ開拓使出張所ト改ム
- 同 年八月 局ヲ太政官ニ移シ蝦夷ヲ北海道ト稱シ全道ヲ分チテ十一國八十六郡トス
- 同 年十月 函館根室ニ開拓使出張所ヲ置ク
- 明治三年二月 樺太開拓使ヲ置ク
- 同 年閏十月 太政官中開拓使ノ局ヲ廢シ東京ニ開拓出張所ヲ置ク
- 明治四年五月 開拓使廳ヲ札幌ニ置ク
- 同 年八月 樺太開拓使ヲ北海道開拓使ニ併セ單ニ開拓使ト稱シ且ツ函館開拓使出張所、根室開拓使出張所ヲ函館出張開拓使廳、根室出張開拓使廳ト改稱ス
- 同 年九月 札幌開拓使廳ヲ札幌本廳ト改稱シ函館、根室、樺太、浦河、宗谷ノ五支廳ヲ置ク
- 明治六年二月 宗谷支廳ヲ留萌ニ移シ留萌支廳ト改ム
- 明治七年五月 浦河支廳ヲ廢ス
- 明治八年三月 留萌支廳ヲ廢ス
- 同 年八月 樺太、久留里交換ノ約成ル
- 同 年十一月 樺太支廳ヲ廢シ久留里諸島ヲ露國ヨリ領收ス
- 明治十二年七月 郡區役所ヲ置ク



○明治十五年二月 開拓使ヲ廢シ札幌、函館、根室三縣ヲ置ク

○明治十九年一月 函館、札幌、根室三縣ヲ廢シ北海道廳ヲ札幌ニ支廳ヲ函館根室ニ置ク

○明治十九年十二月 函館、根室ニ支廳ヲ廢ス

○明治三十年十月 札幌、函館、龜田、松前、檜山、壽都、岩内、小樽、空知、上川、増毛、宗谷、室蘭、浦河、釧路、河西、網走、紗那ノ十八支廳ヲ置ク

○明治三十二年九月 函館、小樽、札幌ニ北海道區制ヲ施行ス

○明治三十二年九月 函館支廳ヲ廢シ龜田支廳ヲ函館ト改ム

○明治三十六年十二月 松前、紗那ニ支廳ヲ廢ス

○明治四十三年二月 壽都、岩内、小樽ニ支廳ヲ廢シ後志支廳ヲ置ク

○大正三年九月 増毛支廳ヲ留萌町ニ移シ留萌支廳ト改稱シ九月二十七日ヨリ開廳

○北海道國有未開地處分沿革

○明治五年十月太政官布告第三百四號北海道土地賣貸規則ニ依リ一人十萬坪ヲ限リ賣下ケ著手ノ後十ヶ年間除租シ指定期限ヲ過キ著手セザルトキハ上地セシム

○明治十九年六月閣令第十六號北海道土地拂下規則ニ依リ一人十萬坪ヲ限リ貸下ケ成功ノ後拂下ケ其ノ翌年ヨリ十ヶ年間地租地方稅ヲ免除ス

○明治十九年八月北海道廳甲布達第八號ヲ以テ北海道廳土地拂下規則手續ヲ定メ貸下地ハ每年事業ノ功程ヲ郡役所ニ届出テ點檢ヲ受ケ全地成功シタルトキハ貸付期限内ト雖モ直ニ拂下ヲ許ス

○明治十九年八月已第八十四號達ヲ以テ北海道土地拂下施行手續取扱方ヲ定メ土地貸下ヲ願出ツルトキハ郡役所ニ於テ實地ヲ踏檢シ願書類ヲ租稅課ニ送達シ該課ニ於テ審査シ方法確實ト認ムルトキハ貸下期限ヲ定メ指令ヲ下附ス

○明治二十年五月北海道廳令第五十一號ヲ以テ官有未開地一人十萬坪以内貸下ノ件ヲ郡區長ニ分任ス

○明治二十年六月訓第四十三號ヲ以テ北海道土地拂下規則施行手續取扱方ヲ改正シ郡役所ニ於テ願書ヲ調査シ實地ヲ踏檢シテ之ヲ貸下ケ又制限外ノ土地ハ財産調書ヲ添へ海産干場ハ意見附シ本廳第二部ニ送達シ第二部ニ於テハ地理課ノ主管ニ屬セリ

○明治二十二年六月閣令第二十號ヲ以テ北海道土地拂下規則第十條ヲ改正シ地券ノ下附ヲ廢シ土地拂下ノ翌年ヨリ二十ヶ年後ニアラサレハ地租地方稅ヲ課セス

○明治二十三年十月訓第七十二號ヲ以テ北海道廳第二部ニ殖民課ヲ置キ殖民ノ方法ニ關スル事、殖民地撰定ニ關スル事等ヲ分掌セシム

○明治二十三年十二月閣令第八號ヲ以テ北海道土地拂下規則附則第十二條即チ北海道土地賣貸規則ニ依リ拂下ケタル土地ニシテ未成功ノモノ處分ノ件ヲ削除ス

○明治二十四年四月北海道廳令第十五號ヲ以テ地理課派出所ヲ設置シ土地貸下拂下ニ關スル事務ヲ取扱ハシム

○明治二十四年五月告示第十一號ヲ以テ地理課派出所ノ名稱管轄區域ヲ定ムルコト左ノ如シ

札幌派出所	石狩全國、膽振國千歲郡
小樽派出所	後志國小樽外六郡
岩内派出所	後志國岩内外五郡
檜山派出所	渡島國檜山外二郡後志國久遠外三郡
函館派出所	渡島國函館區龜田外二郡膽振國山越郡
室蘭派出所	膽振國室蘭外五郡



浦河派出所 日高全國  
 釧路派出所 釧路全國十勝全國  
 根室派出所 根室全國千島全國北見國網走外三郡  
 增毛派出所 天鹽全國北見國宗谷外三郡

○明治二十四年五月北海道廳令第二十一號ヲ以テ千島國紗那、振別、擇捉、藥取四郡ニ於ケル官有未開地一人十萬坪以內貸下ノ事ヲ郡長ニ分任ス明治二十四年八月北海道廳令第三十一號ヲ以テ貸下拂下地調査ノ事ニ改正

○明治二十四年八月北海道廳告示第二十四號ヲ以テ岩内派出所ヲ廢シ後志國古宇、岩内二郡ヲ小樽派出所ニ壽都外三郡ヲ函館派出所ニ屬セシム

○明治二十五年十月訓第二百五十一號ヲ以テ殖民課分掌事項中ニ區劃地貸下ニ關スル件ヲ加フ

○明治二十五年十二月二十二日北海道廳內務部第一二一四〇號ヲ以テ團結移住ニ關スル要領ヲ定メ各府縣知事ニ照會セリ其ノ團結ハ三十戸以上トシ貸下停止中ノ區劃地ト雖モ特ニ貸下豫定地トナスコトアルヘク其豫定地ノ存置期間ハ三ケ年以內トス

○明治二十六年三月北海道廳令第五號ヲ以テ北海道土地拂下規則施行手續ヲ改正ス

○明治二十六年三月訓第九十一號ヲ以テ北海道土地拂下規則施行手續取扱順序ヲ定ム

○明治二十六年三月北海道廳令第六號ヲ以テ地理課、小樽、檜山、函館、浦河、釧路、根室、增毛ノ七派出所ヲ廢シ右管轄區域内ニ於ケル土地貸下拂下ニ關スル願書ハ其所轄郡役所ニ差出サシム

○明治二十七年一月告示第八號ヲ以テ地理課苦小牧派出所ヲ設ケ膽振國勇拂、白老二郡ノ土地ニ關スル事務ヲ取扱ハシム

○明治二十七年四月北海道廳告示第四十四號ヲ以テ地理課瀧川派出所ヲ設ケ石狩國空知、樺戸、雨龍、上川四郡ノ土地ニ關スル事務ヲ取扱ハシム

○明治二十七年十二月北海道廳令第七十三號ヲ以テ北海道土地拂下規則施行手續中區劃地ヲ出願スル者ハ地元戸長役場ノ經由ヲ要セサル等其他數項ヲ追加ス

○明治二十七年十二月北海道廳告示第一百一號ヲ以テ地理課室蘭派出所ヲ廢シ其所管ニ屬セシ事務ハ所轄郡役所ヲシテ取扱ハシム

○明治二十七年十二月北海道廳令第六十八號ヲ以テ官有未開地一人三萬坪以內北海道土地拂下規則ニ依リ處分ノ事ヲ郡區長ニ分任ス但石狩國札幌區及札幌、石狩、厚田、濱益、空知、夕張、樺戸、雨龍上川ノ九郡膽振國千歲、勇拂、白老ノ三郡ニ屬スル分ハ此ノ限ニアラス

○明治二十八年二月北海道廳令第三號ヲ以テ殖民區劃地ノ處分(拂下ヲ除ク)ヲ郡區長分任外トス

○明治二十八年二月十三日北海道廳內務部第一一七八號ヲ以テ團結移住ニ關スル要領ヲ改正シ各府縣知事ニ照會セリ

○明治二十八年十二月訓第三百七十二號ヲ以テ北海道土地拂下規則ニ依ル未開地處分ヲ舉ケテ殖民課ノ分掌トス

○明治二十八年十二月北海道廳告示第三百三十二號ヲ以テ地理課札幌、苦小牧ノ二派出所ヲ廢シ其所管ニ屬セシ土地事務ハ所轄郡役所ヲシテ取扱ハシム

○明治二十八年十二月北海道廳令第九十七號ヲ以テ郡區長分任事項第九十三項但書ヲ石狩國空知、樺戸、雨龍、上川四郡ニ屬スル處分並殖民區劃地ノ處分(拂下ヲ除ク)ハ此限ニアラスト改正ス

○明治二十八年十二月北海道廳告示第三百三十三號ヲ以テ地理課瀧川派出所ヲ明治二十九年一月一日ヨリ殖民課瀧川派出所ト改稱ス

○明治二十九年二月北海道廳令第五號ヲ以テ郡區長分任條件第九十三但書ヲ石狩國空知、樺戸、雨龍上川四郡ニ屬スル處分並殖民區劃地ノ處分ハ此限ニアラスト改正ス



- 明治二十九年十一月北海道廳令第六十號ヲ以テ郡區長分任條件第九十三但書ヲ石狩國空知、樺戸、雨龍、上川四郡十勝國各郡ニ屬スル處分並殖民區劃地ノ處分ハ此限ニアラスト改ム
- 明治二十九年十一月北海道廳告示第九十八號ヲ以テ殖民課十勝派出所ヲ設置シ十勝國各郡ニ屬スル土地事務<sup>明治十九年閣令第十六號ニ依ル</sup>ヲ取扱ハシム
- 明治三十年三月法律第二十六號ヲ以テ北海道國有未開地處分法ヲ發布セラル
- 明治三十年四月勅令第九十八號ヲ以テ北海道國有未開地處分法第三條ニ依ル貸付地ノ面積ヲ定ム
- 明治三十年四月北海道廳令第二十四號ヲ以テ府縣知事ノ證明ヲ得テ土地ノ貸付ヲ受ケントスルモノニ對スル取扱方ヲ定メ一、土地貸付ノ優先權ヲ與ヘ二、二十戸以上團結シテ三年以内ニ移住セントスルモノ及二十萬坪以上ヲ以テ自作農ヲ爲スモノ又ハ二十戸以上ノ小作人ヲ移住セシメントスルモノニ對シ貸下地ノ豫定存地ヲ爲スヲ得ルコトトセリ
- 明治三十年四月北海道廳令第二十五號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行規程ヲ定ム
- 明治三十年五月訓令第九十一號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行規程取扱細則ヲ定ム
- 明治三十年五月北海道廳告示第三百三號ヲ以テ殖民課瀧川派出所及同十勝派出所ヲ北海道廳殖民課拓殖課瀧川派出所及同十勝派出所ト改稱ス
- 明治三十年五月北海道廳令第三十一號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行規程ニ依ル區劃地ノ願届ニシテ釧路郡役所北海道廳殖民課拓殖課瀧川派出所及十勝派出所所管ニ屬スル區劃地以外ノモノハ直接當廳ニ差出スヘキコトニ改ム
- 明治三十年五月北海道廳令第三十二號ヲ以テ郡區長分任條件第九十三ヲ北海道國有未開地處分法ニ依リ三萬坪處分ノコト但石狩國空知、樺戸、雨龍、上川四郡十勝國ニ屬スル處分並殖民區劃地ニ除クノ處分ハ此限ニアラスト改ム

- 明治三十年十月北海道廳告示第二百二十六號ヲ以テ北海道廳殖民課拓殖課紋別派出所ヲ設置シ北見國斜里、網走、紋別、常呂、枝幸五郡ニ屬スル未開地<sup>明治三十年法律第二十六號ニ依ル</sup>事務ヲ取扱ハシム
- 明治三十年十月北海道廳令第六十一號ヲ以テ郡區長分任條件第九十三但書ヲ石狩國空知、樺戸、雨龍上川四郡十勝國全部、北見國斜里、網走、紋別、常呂、枝幸五郡ニ屬スル處分並殖民區劃地<sup>釧路國ノ處分ハ此限ニアラスト改ム</sup>
- 明治三十年十月北海道廳令第六十二號ヲ以テ明治三十年<sup>五</sup>北海道廳令第三十一號但書ヲ釧路外五郡役所北海道廳殖民課拓殖課瀧川派出所十勝派出所紋別派出所所管ニ屬スル區劃地ハ此限ニアラスト改ム
- 明治三十年十一月北海道廳令第七十一號ヲ以テ北海道國有未開地處分法ニ依リ未開地三十萬坪以內處分ノコト(但シ豫定存置ハ此限ニアラスト)ヲ支廳長ニ委任セラル
- 明治三十年十一月北海道廳告示第二百五十三號ヲ以テ北海道廳殖民課拓殖課瀧川派出所同十勝派出所ヲ明治三十年十二月十五日限廢止ス
- 明治三十年十一月北海道廳告示第二百五十四號ヲ以テ北海道廳殖民課拓殖課紋別派出所設置ノ告示ヲ廢止ス
- 明治三十二年二月北海道廳令第八號ヲ以テ豫定存置願書ハ直接道廳ニ差出スヘキコトニ改ム
- 明治三十二年二月北海道廳令第九號ヲ以テ支廳長委任事項第三十一中未開地三十萬坪ヲ十萬坪ト改ム
- 明治三十二年三月北海道廳令第十九號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行細則ヲ改正ス
- 明治三十二年三月訓令第十七號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行細則取扱手續ヲ定ム
- 明治三十三年十一月北海道廳令第一號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行細則中十五萬坪以上



ノ貸付ヲ受ケントスル者ニシテ小作開墾法ニ依ルモノハ其小作人ヲ府縣ヨリ募集スヘキコト其他數件改正ス

○明治三十五年十一月北海道廳令第五百一十一號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行細則中三十萬坪以上ノ貸付ヲ受ケントスル者ニシテ小作開墾法ニ依ルモノハ其小作人ノ内三分ノ二以上ヲ府縣ヨリ募集スヘキコトニ改ム

○明治三十五年十一月北海道廳令第五百五十二號ヲ以テ明治三十年四月北海道廳令第二十四號第二號乃至第四號及書式但書ヲ改正ス

○明治三十九年五月訓令第四十六號ヲ以テ北海道國有未開地檢査規則改正

○明治三十九年十月廳令第九十六號ヲ以テ二十戸以上ノ團結移住者ニシテ府縣知事ノ證明ヲ受ケ三

年以内ニ移住セントスル者ノ爲ニ貸付地豫定存置規則ヲ定メ三十年四月廳令第二十四號ヲ廢止ス

○明治四十年二月訓令第九號ヲ以テ北海道國有未開地處分法第三條ニ依リ貸付スヘキ土地ノ可用立木ハ一町歩ニ付三十尺ノ残存シ他ハ豫メ賣拂ヒ該立木處分ヲ了セサル土地ノ貸付又ハ豫定存置ヲ要スルトキハ全地積ノ二割ヲ除キ他ハ其土地ノ受貸付人ニ賣拂フコトニ定ム

○明治四十年六月訓令第五十四號ヲ以テ三十九年五月訓令第四十六號北海道國有未開地檢査規則中改正追加

○明治四十年九月北海道廳令第九十三號ヲ以テ支廳長委任事項中北海道國有未開地處分十萬坪以内ヲ三萬坪以内ニ改ム

○明治四十一年四月法律第五十七號ヲ以テ北海道國有未開地處分法制定從來ノ無償貸付制ヲ改メテ賣拂制トシ自ラ耕作ヲ爲サントスルモノニ限リ特定地ヲ設定シ無償貸付ヲ爲スコトナル

○明治四十一年六月北海道廳令第六十二號ヲ以テ北海道國有未開地ノ處分ニ伴フ三萬坪以内ノ地上

產物ノ處分ヲ支廳長ニ委任ス

○明治四十一年六月勅令第四百十九號ヲ以テ未開地處分法ヲ四十一年七月一日ヨリ施行ノ件發布

○明治四十一年六月勅令第五百十號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行規則ヲ定ム

○明治四十一年六月北海道廳令第六十四號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行細則ヲ定ム

○明治四十一年六月北海道廳令第六十六號ヲ以テ三十九年十月廳令第九十六號貸付地豫定存置規則中團體員二十戸以上ヲ十戸以上ニ移住期限三年以内ヲ一年以内トシ及其他字句改正

○明治四十一年七月訓令第六百五十七號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行細則取扱手續ヲ定ム

○明治四十一年七月訓令第六百五十六號ヲ以テ評價ニ關スル規則ヲ定ム

○明治四十二年十月北海道國有未開地ノ處分ニ伴ハサル未開地内產物及土石ノ拂下處分ヲ支廳長ニ委任ス

○明治四十三年三月北海道廳令第四十三號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行細則中賣拂地ヲ分割讓渡シタル場合ハ圖面及戶籍謄本ヲ添へ起業方法書ヲ提出シ承認ヲ受クヘキコト及書式ノ注意事項ヲ改正ス

○明治四十三年四月北海道廳令第六十四號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行細則ニ依ル願屆書ニシテ所轄支廳經由ヲ要セサル場合ヲ改ム

○明治四十三年五月北海道廳令第七十四號ヲ以テ貸付地豫定存置規則中府縣知事ノ證明書トアルヲ移住證明書ニ其他數條改正ス

○明治四十三年六月北海道廳令第七十七號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行細則ヲ改正シ特定地ノ貸付願書ニハ圖面添付ヲ要セサルコト及ヒ賣拂、貸付願書ニハ戶籍謄本ヲ添付スヘキ規定ナリシヲ現在家族ヲ記シタル戶籍抄本ニテモ差支ナキコトニ改ム



○明治四十四年十二月十四日北海道廳令八十二號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行細則中所有地又ハ貸付地若ハ小作地ヲ有スルモノト雖モ耕作シ得ヘキ地積僅少ニシテ生計上必要ト認ムルトキハ特ニ貸付スルコトニ改ム

○大正元年十一月二日北海道廳令第十七號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行細則第二條第一項中ノ起業方法書ノ五字ヲ削除セラレ同書ハ提出ヲ命セラレタルトキ指定ノ期間内ニ提出スルコトニ改正ス

○大正元年十一月二日北海道廳令第十八號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行細則中未開地付與願ノ書式ヲ改正シ付與出願ノ際所有權移轉登記ノ請求ヲナサシムルコトニ改ム

○大正元年十一月二日北海道廳令第十九號ヲ以テ同細則中ニ土地ノ賣拂ニ關シ實地調査ニ要スル人夫ハ賣拂願人ヨリ出願セシムルコトアルコトニ改正ス

○大正元年十月十五日訓第百八十八號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行細則取扱手續ノ未開地賣拂指令書中代金納付ハ天災地變其他避ク可カラサル事由アル場合ヲ除ク外指定期間後六十日ヲ經過スルモ尙納付セサルトキハ許可ノ効力ヲ失ヒ又土地立木ハ代金完納ノ時ヲ以テ取得スルコトニ改ム

○大正元年十一月二日訓第百三十五號ヲ以テ貸付地豫定存地ノ檢查ヲ廢止セラレ同日訓第百三十六號ヲ以テ該檢查ハ支廳ニ於テ施行スルコトニ改正ス

○明治四十五年六月一日日本廳決議ニ依リ未開地内土石產物處分ノ件並ニ同產物ノ誤盜伐辨償處分ヲ舉ケテ營林區署ノ主管ニ移替セラル

○大正二年五月二十六日訓第四百十號ヲ以テ長官處分ニ屬スル未開地賣拂願ハ實地調査前進達指揮ヲ受クヘキコトニ改正ス

○大正二年六月二十日訓第四百六十號ヲ以テ未開地評價規則一部改正ス

○大正二年十一月二十一日訓第八百七十四號ヲ以テ未開地賣拂許可指令條件一部改正ス

○大正三年五月九日告示第二百九十一號ヲ以テ立木材積單位ヲ實積ハ石(十立方尺)層積ハ棚(百立方尺)ニ改正大正三年六月一日ヨリ實施ス

○大正三年七月三十日從來ノ牧場處分ヲ改正シ並處分法施行細則同取扱手續ノ一部改正ス

○大正三年七月三十日訓第六百五十五號ヲ以テ未開地評價規則一部改正ス

○大正三年七月三十日處分法施行規則第三條第一項第五號ニ依ル制限面積ノ解釋ヲ決定ス

○支廳長(郡區)未開地處分權委任沿革 (重出)

支廳長(郡區)處分權	沿革	支廳長(郡區)處分權	沿革
十萬坪以內	明治二十年五月 廳令第五十一號ヲ以テ郡區長ニ分任	三十萬坪以內	明治二十七年十二月 廳令第六十八號ヲ以テ同上
三十萬坪以內	明治三十年十一月 廳令第七十一號ヲ以テ支廳長ニ委任	十萬坪以內	明治三十二年二月 廳令第九號ヲ以テ同上
三萬坪以內	明治四十年九月 廳令第九十三號ヲ以テ同上	拾町步以內	明治四十五年六月一日 廳令第七十號ヲ以テ同上

○未開地立木處分沿革 (重出)

無償下付

明治十九年閣令第十九號北海道土地拂下規則明治十九年法律第二十六號北海道國有未開地處分法第三條ニ依リ無償貸付シタル土地ノ立木ハ其受貸付人ニ無償ニテ下付ス



土地ト分離シテ賣拂フ

未開地處分法第三條ニ依リ貸付スル土地ノ立木ハ土地ト分離シテ賣拂フ

明治四十年二月二十八日 北海道廳告示第九十五號  
明治四十年二月二十八日 北海道廳訓令第九號

立木ノ處分ハ營林區署及營林區分署ノ主管トス明治四十一年六月十九日廳令第六十二號ヲ以テ  
立木處分ヲ支廳長ニ委任ス

土地ト共ニ賣拂フ

明治四十一年七月一日未開地處分法改正實施ニ依リ立木ハ土地ト共ニ賣拂フ

立木調査ハ支廳長ノ通告ニ依リ營林區署又ハ營林區分署ニ於テ施行セルモ明治四十二年七月二  
十四日訓第五百六十四號ニ依リ明治四十二年八月一日ヨリ支廳長ニ於テ施行ス

大正四年三月四日印刷  
大正四年三月六日發行

### 北海道廳拓殖部

札幌區大通西二丁目七番地

印刷者 高 增 孫 治 郎

札幌區大通西二丁目七番地

印刷所 高 增 印 刷 所

電話 八四七番  
電話 三六一番



14.

132



14.7

132



